



雁歌学報

宮城県伊具高等学校
〒981-2153 伊具郡丸森町雁歌51
電話 0224-72-2020 FAX 0224-72-1322
ホームページアドレス <http://igu.myswan.ne.jp/>

❁「戦」の令和4年から、希望に満ちた令和5年へ！！

令和4年が終わります。今年もコロナ対策に明け暮れた1年となりましたが、昨年までとは違い、通常の社会生活や経済活動も大分戻った1年でした。これからも、生徒・職員が協力して互いの健康と安全を守り合いながら、充実した学校生活を送って参ります。

ところで、今年の漢字は「戦」でした。北京冬季オリンピック・パラリンピック、サッカーワールドカップカタール大会の熱戦などもありましたが、ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮による相次ぐ弾道ミサイル発射、ここに来ての防衛費増額など、否が応でも戦争を意識させられた1年でした。戦争の悲劇とおろかさを世界に訴える憲法9条の理念が未来永劫揺らぐことがないこと、そして令和5年が希望に満ちた明るい一年となることを皆様と一緒に祈り、新年を迎えたいと思います。

○専門高校の魅力発信イベントに参加

11月12日（土）にイオンモール名取を会場に開催されました。このイベントは、3年前まで産業教育フェア（さんフェア）として宮城県庁前の勾当台公園を会場に開催されており、その後継イベントとして宮城県内を6地区に分けて開催されました。本校は南部ブロックの会場であるイオンモール名取でのイベントに機械、情報、農学の3系列が参加しました。

機械系列では、バーベキューコンロ等の販売に加え、キーホルダーの作成やプログラミングの体験コーナーを設置し、大人からも子どもからも関心を集めていました。また情報系列ではカフェとのコラボ商品であるシフォンケーキ等を、農学系列ではコメや野菜、シクラメンなどの生産物の販売をして、本校の学習内容や生産物等を日ごろ馴染みのない名取地域の住民の方にアピールをしました。



○みやぎふるさとCM大賞参加 3年1組 横山 大悟

12月3日、KHB東日本放送ぐりりホールにて、みやぎふるさとCM大賞のテレビ収録がありました。情報系列3年次の授業の一環で、私たちが育った丸森町の魅力を発信したいと思い、CM制作を行いました。30秒という限られた時間の中で情報を伝えるのは難しかったのですが、仲間と一緒に試行錯誤したことにより、私たちらしい丸森町CMを制作することができました。結果は、賞には届かなかったものの、CM制作を通して地元の方々に恩返しのできたのではないかと思います。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。



○運動部 新人大会結果

【ソフトテニス部】

私たちソフトテニス部は仙南新人個人戦県大会出場、団体戦ベスト4を目標に日々練習してきました。仙南新人では、1番手ペアの佐藤・土生が念願の県大会出場を果たすことができました。団体戦では4校リーグの3位となり、決勝トーナメント出場はなりませんでした。

県大会個人戦では、「まず1勝」を目標に1回戦仙台南に4-0で勝利することができました。2回戦目、今年のインターハイ個人3位の東北高校ペアとの対戦ですが、0-4で敗戦し、実力差を知りました。県団体戦、東北学院榴ヶ岡と対戦し0-2で敗戦しましたが、部員の半数が初心者で競技経験も1年未満ですが、日々成長していると実感できた大会になりました。

【バドミントン部】 男子バドミントンはこの2年間部員がおらず、今の2年次が入部した昨年からの再起動となりました。今年度の仙南新人大会では、3年ぶりに学校対抗戦にまで出場でき、結果は亙理高校に2対3で敗退となり惜しい結果でした。また同大会では、ダブルスで県新人大会への出場権を獲得できました。県大会ではすべて1回戦敗退でしたが、新人戦初体験はよい経験になったのではと感じました。



【バレー部】

11月5日(土)亙理高校で亙理高校、名取高校と対戦しました。11月6日(日)は、白石工業高等学校で宮城農業高校、名取北高校と対戦しました。惜しくも敗れてしまいましたが、練習の成果が表れたプレーも随所に見受けられました。また、課題も見つかり今後の大会に向けて練習に励みたいと思います。



【弓道部】

令和四年度仙南新人弓道大会が竹駒神社にて開催されました。男女ともに個人戦競技では力及ばずに一次予選で敗退となってしまいました。また宮城県弓道場で行われた宮城県新人大会では、男子団体・女子団体競技に参加しました。男子団体は、伊具高校単独として数年ぶりのフルメンバーでの出場でしたが、一次予選で敗退となってしまいました。女子団体は、人数不足での出場となりましたが、堂々と自身の射を披露しました。



今回の新人戦では、思うような結果を得ることができませんでしたが、今大会で見つけた課題を明確にし、課題克服に向けて日々の練習に励んでいきたいと思っています。引き続き、応援よろしくをお願いします。

【空手愛好会】

県高等学校新人大会空手道競技会に参加しました。個人形・個人組手に出場し、個人形は予選敗退、個人組手は初戦敗退となりました。県新人大会に向けては、夏休み中から県高体連の強化練習会や外部高等学校との練習試合に参加し、体力・技術の向上に努めましたが、日々の稽古を継続して取り組むことが難しく、自らの技量を思うように伸ばすことができませんでした。来年度の県高校総体に向けては、これまで以上の結果を残せるよう、日々の活動から一生懸命に取り組み、残された年度内の各種大会についても成果と課題を見つけれられるようにしたいです。



【卓球部】

10月19日から21日まで大河原町総合体育館にて、仙南地区高等学校新人卓球大会が開催されました。団体戦では惜しくも敗退してしまい、県大会出場とはなりませんでしたが、個人戦(シングルス)では部長の小野遥仁君が2回戦まで進出し、県大会出場の好成績を残しました。



この結果を受け、11月5日に男子シングルの県大会が行われましたが、惜しくも1回戦で敗退してしまいました。

しかし、4日間にわたる大会において、部員全員が運営にも携わり、力をつくしていました。県大会で多数の選手から刺激をもらい、学んだことも多くあったことと思います。この学びを活かして、部員全員でこれからも頑張っていって欲しいです。

〇伊具高祭の収益を寄付しました

12月5日に、令和4年度伊具高祭の模擬店収益を、丸森町社会福祉協議会に寄附しました。本年は、限定的ではありますが一般公開を実施し、3年ぶりに寄附を行うことができました。寄附金をお渡しした後には社会福祉協議会の方との懇談も行い、地域とのつながりを実感する機会となりました。

～ 私が伊具高生だった頃 ～

小斎振興協議会 会長 戸村 哲夫

私が伊具高等学校に入学したのは昭和44年です。当時の伊具高校は、農業科・商業科・生活科があり、1学年200名位でした。校舎は木造で敷地内には畜舎や蚕室、根っ子入と梅ノ木平の農場には牛や豚、鶏の畜舎があり、農業実習で泊ったのも楽しい思い出です。

また、高校二年の春休みに関西への修学旅行があったのですが、1年先輩はちょうど「大阪万博」が開催されており万博を見学しましたが、私たちの学年の生徒は1年違いで見学できず、大変残念がっていたことを覚えています。

※この学校通信は本校ホームページにも掲載されています。本校HP：<https://igu.myswan.ed.jp/>